

## 包括的な連携推進に関する協定の補足説明資料

### 1. 協定締結の目的

名古屋大学が有する基礎研究成果(シーズ)と NEXCO 中日本が有する現場に直結した技術力を統合し、高速道路の建設・維持管理・環境など相互協力が可能なすべての分野における連携を推進することにより、

- ・ 研究成果の社会活用の強化
- ・ 先端的な技術力かつ広い視野を有する高度技術者や研究者の育成に貢献することを目指すものである。

### 2. 協定締結に期待すること

#### 【名古屋大学】

- 名古屋大学が有する基礎研究成果を高速道路という場を通して、具体化することができる。
- 従来から実施していた技術的側面の共同研究に加え、地域活性化・生態系保全・社会開発等の多様な側面を含む総合的な共同研究を行うことが可能になる。
- 研究者の交流やインターンシップなどにより、教員・学生等が現場を含む幅広い体験をすることができ、視野の広い技術者や研究者を育成することにつながるができる。

#### 【NEXCO 中日本】

- 高速道路におけるさまざまな課題に対して、特定の分野での検討にとどまらず、多岐にわたる視点からの研究が可能となる。また、研究成果を現場へ反映させることにより、「安全・安心・快適」な高速道路を実現する。さらに、産業・観光の発展など地域社会・経済へ貢献できる。
- 名古屋大学との連携・交流を通じ、人材育成に寄与できる。
- 名古屋大学がこれまで実施してきた国際交流や留学生交流などによる知見を当社事業に生かすことが期待できる。

### 3. 想定される取組事例

#### (1) 共同研究等の実施とこれに伴う研究者及び技術者の相互交流

- ・共同研究等の実施を通して、高速道路に関する個々の課題に対する対応策を立案する。  
また、それに伴い研究者や技術者の交流も必要に応じて実施する。
- ・例えば、軟弱な地盤上に道路を造る場合に地盤の沈下挙動を予測する研究(継続実施事項)や橋梁の点検技術向上に向けた研究などに取り組むことを検討している。

(2) 学生等に対するインターンシップ機会の付与

- ・名古屋大学の学生等に対して、NEXCO 中日本でのインターンシップを進める。

(3) 技術連携に基づく地域特性を生かした製品の社会への提供

- ・名古屋大学が開発に取り組む地域資源を活用した製品をサービスエリアなどの場で提供、情報発信などを行う。

(4) その他の事例

- ・NEXCO 中日本社員が名古屋大学で講師として、道路の路線計画に関連した講義を行う。  
(継続実施事項) また、名古屋大学に短期留学されている留学生に対して、NEXCO 中日本社員が社会環境工学概論の内の道路に関する講義を行う。(継続実施事項、今年度については調整中)

以上